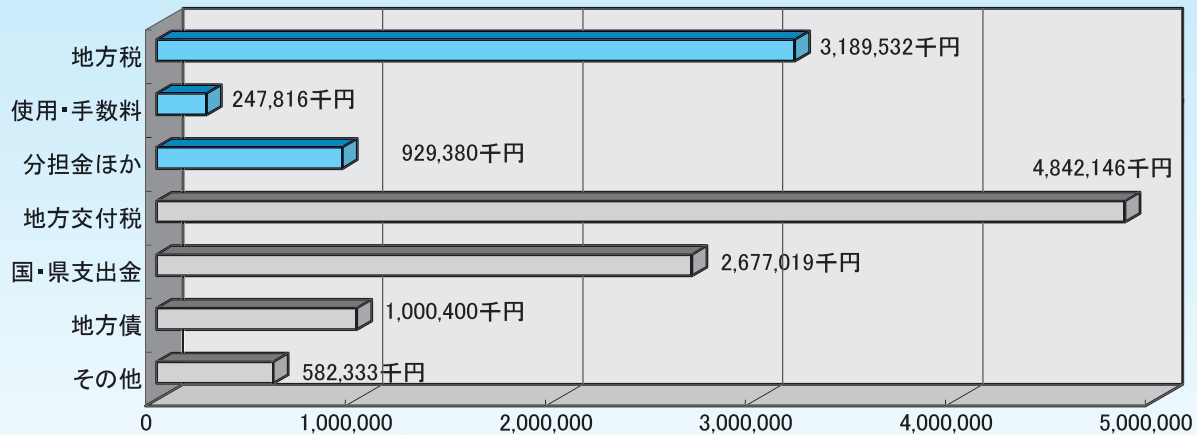


— 平成20年度 予算の状況 —

市では、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われているか、市の財政がどのような状況にあるかをお知らせするために、毎年5月と11月に財政事情を公表しています。
今回は、平成20年度最終予算(3月補正後)の状況をお知らせします。

○一般会計歳入最終予算(3月補正後) 134億6,862万6千円 の状況



前年度決算額と比較してみると…

(単位:千円、%)

項 目	H20最終予算	構成比	H19決算	構成比	増減率	予算計上の主なもの
地 方 税	3,189,532	23.7	3,218,404	25.6	▲ 0.9	市民税、固定資産税、軽自動車税など
使 用 ・ 手 数 料	247,816	1.8	239,851	1.9	3.3	市営住宅使用料、ごみ処理手数料、各種施設使用料など
分 担 金 ほ か	929,380	6.9	901,598	7.2	3.1	保育園保護者負担金、寄附金、基金からの繰入金、前年度繰越金など
地 方 交 付 税	4,842,146	36.0	4,613,978	36.7	4.9	地方交付税
国 ・ 県 支 出 金	2,677,019	19.9	1,960,057	15.6	36.6	各種事業に伴う国・県交付金及び補助金
地 方 債	1,000,400	7.4	1,007,300	8.0	▲ 0.7	合併特例債等、事業実施に必要な資金の借り入れ
そ の 他	582,333	4.3	622,349	5.0	▲ 6.4	地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金など各種交付金
合 計	13,468,626	100.0	12,563,537	100.0	7.2	
自 主 財 源	4,366,728	32.4	4,359,853	34.7	0.2	(地方税、使用・手数料、分担金ほか)
依 存 財 源	9,101,898	67.6	8,203,684	65.3	10.9	(地方交付税、国・県支出金、地方債、その他)

平成20年度最終の歳入予算は、景気の回復による地方税等の伸びは見込めなかったものの、国の地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金や生活対策臨時交付金により前年度決算比7.2%増の予算規模となりました。「国・県支出金」が大きく増えたのは、それらの交付金によるものです。ふるさと納税による皆さまからの寄附や、多岐にわたる市有施設の利用により「使用・手数料」「分担金ほか」が伸びてはいますが、依存財源比率67.6%が示すとおり、地方交付税等、国県の意志により決められた財源の動向が、市の財政運営に直結する現状にあり、今後ますます厳しい財政運営を強いられることが予想されます。

○一般会計基金(貯金)の状況

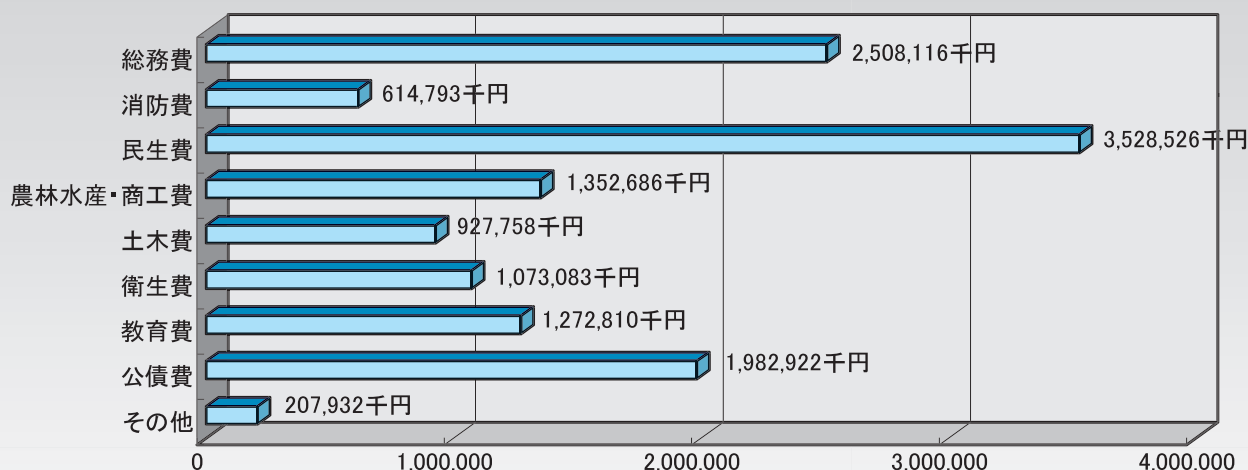
平成20年度最終予算(3月補正後)の基金残高は約20億円です。住民一人あたり約6万円となります。

(単位:千円)

種 類	内 容	H20最終予算額	H19決算額
財 政 調 整 基 金	長期的な財源調整を行うための基金	714,460	515,333
減 債 基 金	地方債償還に必要な財源を確保するための基金	392,986	516,570
特 定 目 的 基 金	保育園建設等ある特定の目的のために積立てる基金	939,604	656,402
合 計		2,047,050	1,688,305



○一般会計歳出最終予算(3月補正後) 134億6,862万6千円 の状況



前年度決算額と比較してみると…

(単位: 千円、%)

項 目	H20最終予算	構成比	H19決算	構成比	増減率	予算計上の主な内容
総 務 費	2,508,116	18.6	1,511,236	12.3	66.0	庁舎管理や交通安全のための経費
消 防 費	614,793	4.6	621,978	5.1	▲ 1.2	火災や災害対策のための経費
民 生 費	3,528,526	26.2	3,544,053	28.8	▲ 0.4	子育てや高齢者のための経費
農林水産・商工費	1,352,686	10.0	1,696,234	13.8	▲ 20.3	産業振興のための経費
土 木 費	927,758	6.9	652,557	5.3	42.2	住環境整備等のための経費
衛 生 費	1,073,083	8.0	1,043,530	8.5	2.8	ごみ処理や健康管理のための経費
教 育 費	1,272,810	9.5	962,274	7.8	32.3	児童・生徒、社会教育のための経費
公 債 費	1,982,922	14.7	2,006,586	16.3	▲ 1.2	市の借金返済のための経費
そ の 他	207,932	1.5	253,907	2.1	▲ 18.1	災害復旧や議会のための経費
合 計	13,468,626	100.0	12,292,355	100.0	9.6	

平成20年度最終の歳出予算を目的別に見てみると、「土木費」「教育費」が伸びています。これは、国の地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金や生活対策臨時交付金を活用し、市道や小中学校、社会教育施設の整備に予算措置を行ったことが要因となっています。また「総務費」が大きく伸びているのは、定額給付金事業によるものです。これに対し、「農林水産・商工費」が減となったのは、平成19年度に実施した畜産基盤整備関係の事業が終了したこと等によるものであり、「その他」が減っているのは、平成20年度は大きな天災がなく、災害復旧に要する経費が発生しなかったこと等によるものです。全体で見ると、前年決算額に比べて9.6%増の約135億円の歳出予算額となっています。

○地方債(借金)の状況

平成20年度最終予算(3月補正後)後の地方債残高は約201億円です。住民一人あたり約60万円となります。

(単位: 千円)

	会 計 別			合 計
	一般会計	下水道会計	診療所会計	
H 1 9 決 算 額	16,137,951	4,303,716	14,642	20,456,309
H 2 0 最 終 予 算 額	15,493,247	4,635,930	14,880	20,144,057
増 減 額	▲ 644,704	332,214	238	▲ 312,252



○特別会計最終予算(3月補正後)の状況

特別会計とは特定の収入(国民健康保険税や下水道使用料)で事業の支出がまかなわれている会計で、神崎市には平成20年度現在で6会計があります。

なお、下水道事業特別会計には公共下水道事業のほかに農業集落排水事業、特定地域生活排水事業が含まれており、長期計画のもと、事業を進めています。

【国民健康保険事業特別会計】

- ・20年度最終予算額 3,559,058千円
- ・19年度歳出決算額 3,746,327千円
- ・増減率 ▲5.0%



【国民健康保険診療所特別会計】

- ・20年度最終予算額 78,914千円
- ・19年度歳出決算額 81,822千円
- ・増減率 ▲3.6%



【老人保健医療特別会計】

- ・20年度最終予算額 415,893千円
- ・19年度歳出決算額 3,881,732千円
- ・増減率 ▲89.3%



【後期高齢者医療特別会計】

- ・20年度最終予算額 306,000千円
- ・19年度歳出決算額 0千円
- ・増減率 皆増%



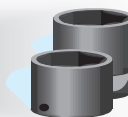
【簡易水道特別会計】

- ・20年度最終予算額 3,045千円
- ・19年度歳出決算額 2,810千円
- ・増減率 8.4%



【下水道事業特別会計】

- ・20年度最終予算額 1,189,653千円
- ・19年度歳出決算額 1,175,359千円
- ・増減率 1.2%



神崎市の財政は依然厳しい状況にあり、今後ますます厳しくなっていくことが予想されます。皆さんに喜び満足していただけるような市の実現のためには更なる行財政改革は不可欠です。

財政運営にあたっては、収入に見合った支出規模を基本としたうえで、住民サービスの低下を招かないよう職員数の削減や事務事業の細部にわたる見直し・統合による経費の削減、また将来の神崎市を担う子どもたちに過大の負担をかけることのないよう借金の返済や基金の造成に力を注ぐなど、更なる財政の健全化に努めていきます。

平成20年度予算の状況に関するお問い合わせは、神崎市役所 財政課(☎37-0101) までお願いします。
また、予算書の閲覧は財政課窓口でどなたでもできます。お気軽にご覧ください。